

**JP57202084U**

**Publication number:** JP57202084U  
**Publication date:** 1982-12-22  
**Inventor:**  
**Applicant:**  
**Classification:**  
- international: F16L19/08; F16L19/00; (IPC1-7): F16L19/08  
- european:  
**Application number:** JP19810089934U 19810618  
**Priority number(s):** JP19810089934U 19810618

[Report a data error here](#)

Abstract not available for JP57202084U

---

Data supplied from the **esp@cenet** database - Worldwide

⑨ 日本国特許庁 (JP) ⑩ 実用新案出願公開  
 ⑪ 公開実用新案公報 (U) 昭57-202084

⑫ Int. Cl.<sup>3</sup>  
 F 16 L 19/08

識別記号

厅内整理番号  
 7244-3H

⑬ 公開 昭和57年(1982)12月22日

審査請求 有

(全 3 頁)

⑭ 管絶手用リング付パッキング

⑮ 実 願 昭56-89934

⑯ 出 願 昭56(1981)6月18日

⑰ 考 案 者 高橋一永

東京都足立区新田2丁目6番13

号秀栄化学工業株式会社内

⑭ 出 願 人 秀栄化学工業株式会社

東京都足立区新田2丁目6番13

号

⑮ 代 理 人 弁理士 坪井要

⑯ 実用新案登録請求の範囲

断面三角形状で環状のパッキング体1を弾性体によって構成し、その垂直面に環状の溝部2を形成し、その溝部2の奥部を膨大部3とし、前記パッキング体1の垂直面と略同一幅を有し、その一面に環状の突条5を突設し、その先端を膨出部6としたリング4となし、その突条5を溝部2に嵌合し、膨出部6を膨大部3に嵌合したことを特徴とした管絶手用リング付パッキング。

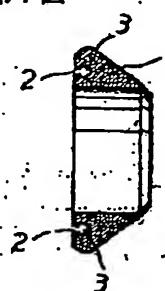
図面の簡単な説明

図面は、本考案の一実施例であつて、その第1

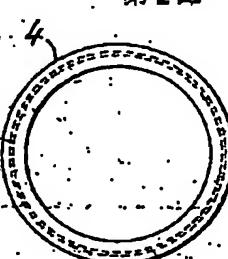
図は、本考案の一部のパッキング体の縦断側面図、第2図は、本考案一部のリングの正面図、第3図はその背面図、第4図は側面図、第5図は縦断側面図、第6図は管絶手の部品の分解斜視図、第7図はそれらの部品をパイプに挿通した斜視図、第8図は管絶手に対して袋ナットの締付前の縦断正面図、第9図は管絶手にパイプを固定した縦断正面図である。

1……パッキング体、2……溝部、3……膨大部、4……リング、5……突条、6……膨出部である。

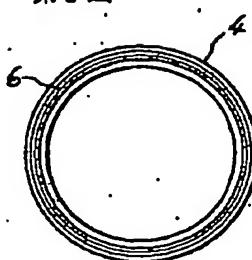
第1図



第2図



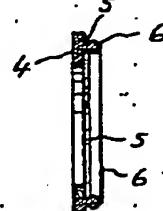
第3図



第4図



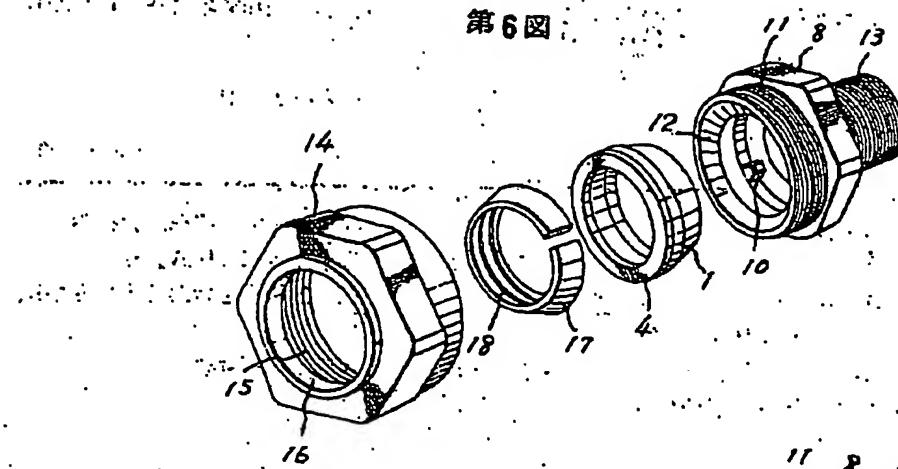
第5図



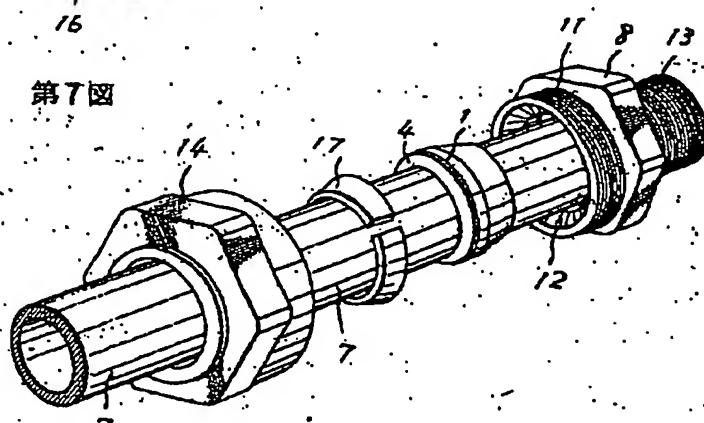
BEST AVAILABLE COPY

BEST AVAILABLE COPY

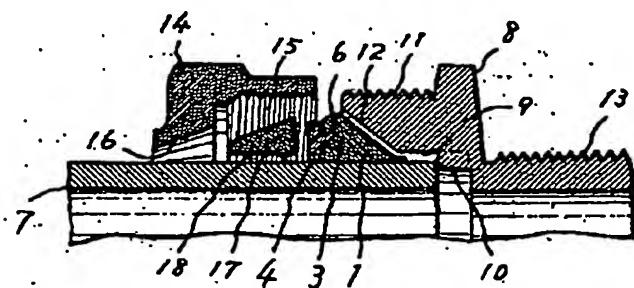
第6図



第7図



第8図



BEST AVAILABLE COPY

第9図

